

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	障害者職業訓練指導員経験交流事業費		担当部局庁	職業能力開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度		担当課室	能力開発課		能力開発課長		
会計区分	一般会計		施策名	II-1-6 障害者、母子家庭の母等のキャリア形成を支援する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第3条の2第5項、第15条の4、第99条		関係する計画、通知等	「重点施策実施5か年計画」(平成19年12月25日障害者施策推進本部決定 期間平成20年度～平成24年度)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の職業訓練を担当する指導員が蓄積した訓練技法等のノウハウやニーズ、経験等を相互に情報交換・分析を行い、これを共有化することにより、訓練内容の充実・向上等を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	障害者職業訓練校の指導員等が個々の現場において蓄積した訓練技法等のノウハウやニーズ、経験等を相互に情報交換・分析を行い、これを共有化することにより訓練内容の充実・向上等を図ることを目的とした交流会を定期的に開催するもの。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1.1	1	0.9	0.7	0.7	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	1.1	1	0.9	0.7	0.7	
		執行額	0.4	0.1	0.03			
	執行率 (%)	36.4%	10.0%	3.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (20～23年度)
	就職率	成果実績	%		59.0%	55.0%	60%	60%
		達成度	%		98.3%	91.7%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出席者数	活動実績 (当初見込み)	人		35	34	63	—
							(67)	(66)
単位当たりコスト	459円/出席者1人		算出根拠	平成22年度執行額(28,937千円)/平成22年度出席者数(63人)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	(目) 諸謝金	0.04	0.04					
	(目) 庁費	0.4	0.40					
	(目) 委員等旅費	0.2	0.20					
	(目) 職員旅費	0.1	0.10					
	計	0.7	0.7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	障害者の就職促進を図るうえで、指導員の資質の向上は不可欠であり、今後も本交流会の内容を充実させていく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業については、事業実績を勘案・検証した上で、効果的、効率的な事業運営に努めながら、執行状況を予算要求に反映していくこと。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度は、会場借料等の庁費、諸謝金及び委員等旅費等の事務費が当初の見込みを大幅に下回ったが、当該経験交流会は年度ごとに開催地やテーマの選定等を行っており、会場借料や講師謝金、旅費等の必要経費が変動するものである。 平成24年度についても、必要な経費を精査したところ、前年度並みの金額を必要とするため、前年度同額で要求を行うものである。			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
事務費 0.03百万円



〔 諸謝金、職員旅費、会議費 〕

A.事務費
0.03百万円

〔 障害者職業訓練指導員経験交流会の開催 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.事務費			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師への謝金	0.01			
職員旅費	会議に係る旅費	0.01			
会議費	会議に係る茶菓代	0.01			
計		0.03	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.00	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					